

9 月 定 例 教 育 委 員 会
会 議 録

1. 招集年月日 令和6年9月19日（木）
2. 招集の場所 海田中学校
3. 開会（開議）令和6年9月19日（木）9時30分宣告
4. 出席者

教育長 森山 真文 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳

5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 新藤 正敏 学校教育課長 小村 孝広
生涯学習課長 森原 知美

6. 職務のため出席した者の職氏名

係長 平田 裕子

7. 議事日程

- 第1 会議録署名者の指名について 米丸委員
- 第2 報告協議第33号 令和6年9月議会について
- 第3 報告協議第34号 海田町学校意識調査について
- 第4 報告協議第35号 生徒指導上の諸課題について
- 第5 報告協議第36号 各行事の開催及び結果等について

8. 議事の内容

9 : 3 0 開始

○教育長（森山） それでは 9 月教育委員会会議定例会を始めます。本日の会議録の署名は米丸委員にお願いいたします。 それでは議事に入ります。報告協議第 33 号，令和 6 年 9 月議会について，を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○教育次長（新藤） それでは，資料 2 ページをお願いします。報告協議第 33 号，令和 6 年 9 月議会について，御報告します。資料 3 ページをお願いします。令和 6 年 9 月議会では，4 項目について一般質問がありました。資料 4 ページをお願いします。中学校のクラブの地域移行について，多田議員でございます。1 点目の質問は，中学校のクラブ活動の地域移行についてのスケジュールをどのように考えているか，につきましては，令和 5 年度から 3 年間かけ，運動部活動の地域移行として，陸上部の一部を織田幹雄スポーツクラブで実施するとともに，学校で行う部活動への部活動指導員を配置する実証事業を進めているところでございます。現在，これまでの課題を踏まえ，海田町公立中学校部活動在り方検討部会を設置し，令和 8 年度以降の方針等の検討を行う予定としております。2 点目の質問は，指導者の確保はできるのか，につきましては，一部の部活動で退職教員や地域の人材を確保していますが，分野や競技によっては，専門的指導ができる人材を確保することに難しさがあります。3 点目の質問は，学校と地域のスポ

一ツ団体指導者と連携協働をどのように進めているのか、つきましては、定期的に実施している公立中学校部活動地域移行関係者会議等を継続し、活動方針や活動状況の共通理解を図り、安定的に部活動を進めてまいります。4点目の質問は、指導者の資格取得に補助をしております。つきましては、現在資格を持った指導者が指導を行っています。資格を有しない指導者に対しては、資格取得の際に補助することとしています。資料6ページをお願いします。2つ目の質問は、海田東公民館再整備基本計画策定について、佐中議員でございます。質問は、海田東公民館の整備については、現時点で全く何もしないことになっている。小学校を優先して整備するが、海田東公民館の今後のスケジュールはどうなっているか、つきましては、令和5年12月議会での町長答弁のとおり、町内の公共施設等の利活用に係る総合的なマネジメントの中で、海田東公民館の在り方も検討しているところでございます。このため、海田東公民館のみ単独で整備方針を検討する段階ではなく、町内の公共施設の適正配置や今後の海田東地区の将来像などを見据えて検討してまいりたいと考えております。資料8ページをお願いします。3つ目の質問は、生成A Iの利用について、新谷議員でございます。今後、海田町の教育現場で、どのように生成A Iを活用していくのか、つきましては、町の研修会では、事例や書籍等を紹介しています。まずは、教職員が慣れ、校務の範囲内で適切に利用できるよう、支援してまいります。さらに、児童生徒の利用につ

いては、有効な場面を検証しながら進めることが適切であることから、今後先進地事例等を参考に調査研究をしてまいります。資料9ページをお願いします。4つ目の質問は、これからの学校教育について、白井議員でございます。1点目の質問は、どのように教職員の資質向上に取り組んでいるのか、その取組の効果につきましては、子どもたちを取り巻く昨今の社会状況も踏まえながら、求められる教職員の育成に向けて、校内外における研修を積極的に受講させるとともに、本町でも、教職員対象の研修を計画的に実施しています。先般公表された令和6年度全国学力・学習状況調査の結果や学力調査では、本町教職員は、子どもの状況に寄り添い対応する資質や指導力を身に付けていると考えています。引き続き、教職員の資質能力の向上に努めてまいります。2点目の質問は、将来的な学校運営について、小学校の数は4校で維持するのか、3校ということもあるのか、につきましては、学校施設長寿命化計画において、海田西小学校は長寿命化と判断しており、引き続き、改修を適切に実施し、安全性、機能性を確保することで長期的に使用していく予定としています。また、当該計画において、児童数の将来見通しは、当面1学年30人規模を維持することから、現時点では学校再編を検討する段階ではないと認識しています。ただし、今後の推計結果によっては、近隣校との統合も含め、本町の将来的な学校の在り方について、検討していく必要があると考えています。3点目の質問は、海田町には中学校ごとに、学校運営協議会があ

るが、協議会の目的は何か。また、会議の結果はどのような効果があったか、につきましては、地域や家庭との信頼関係を深め、児童生徒を育成することを目的としており、本町では小中一貫教育を推進するため、学校運営協議会を各中学校区に設置しています。また、協議会は、学校運営への必要な支援に関して協議することを目的としています。協議会において、各学校及び中学校区の取組の評価や学校ボランティアの活用への助力をいただくことで、学校運営の改善へ向けた取り組みを進めているところです。一方で、協議会が形骸化している、組織的な仕組みが構築されていないなどの御意見や、学校と地域の連携が不十分であるなどの課題もありますので、今後、より良い取り組みとなるよう、学校運営協議会の運営について改善を進めてまいります。一般質問は以上でございます。9月議会におきましては、補正予算を計上しております。主なものとしましては、海田東小学校校舎建替基本計画策定及び基本・実施設計業務委託料でございます。こちらについても議決をいただいております。以上です。

○教育長（森山）はい、ありがとうございます。何か御意見がありますでしょうか。前回は何もなくてですね、9月に結構数としては、出てきていて、多岐にわたっています。この中で、触れたものとして、今後ちょっと動きがあるものとしてはですね、次長からの話にもあったと思うんですが、まず部活動の地域移行なんですけど、部活動の在り方検討部会を、学校運営協議会の中学校の担当の方々、両中学校と

もに来ていただいて、御意見を聞いたりしようかなと。あと、学校、それから保護者ですね。この質問をきっかけにはないんですけど、検討して方向性を向こう3年間ぐらいまた出さないといけないかなというところがあります。それから、あともう1個あったのが、学校運営協議会の持ち方というところで、やっぱり御意見として、形式、形骸化してたり、うまく回ってないという御意見も印象としてあるということなので、これもやり方を検討していくということで、御意見いただいて、できることは少しずつ改善していこうかなと。また、これについては御報告をですね、どこかの場面で、させていただきたいというふうに思っております。あとは、小学校の再編とかですね、公民館の建替えとかですね、今の時点で、触れられないようなものがあるので、ここはちょっと、保留みたいな感じにはなっておりますので、また、こちらも方向性が出た時点で御説明をさせていただこうと思っております。よろしいでしょうか。何か御意見がございますでしょうか。

○委員（竹岡）部活動の地域移行についてなんですが、感じたことなんですが、部活移行というのを、何のために海田町はしようとしているのかというのが、見えにくいと、保護者の立場からは、選択肢を提示されると、どれを選択していいのかが、ちょっと見えにくくなってしまいうんじゃないかなという気がしたんです。部活動の地域移行というのは、学校の教職員の負担軽減であつたり、部活動の運営自体が、生

徒数が減少しているところだったり、規模が小さい学校があったりするところで、地域全体でやっていく方が、子どもたちのためにいいんじゃないか、というようなそういう論点がいくつかあると思うんです。海田町には中学校が2校しかなくて、規模がたいぶ違う、状況もたいぶ違うので、海田町として地域移行を是非とも推進したいのか、どうなのか。それが何のためなのか、みたいなのがはっきり提示されると、保護者もそれなら協力しようとか、それならこうしようとかが出てくるのかなと思ったり、この地域移行というのは地域性によって、目的とすることが少し変わってくるような感じがして、それによって取組の仕方が変わってくるような気がするので、2年、3年ではなくて、5年、10年見据えて、20年、30年になるかもしれないですけども、そういうところを見据えて、海田町としては部活というものを、何を課題として捉えていて、どういう方向性を目指しているのかなというのが、保護者や担当の先生方に伝わると協力の仕方や向き合い方が変わってくるんじゃないかなと感じました。感じたことを言っただけです。

○学校教育課長（小村） 御意見ありがとうございます。おっしゃるところは、確かにですね、明確にしていけないといけないところだと感じております。この度、この在り方部会を持つことはすごくいいことだと思います。当然、保護者に入っていただく、管理職だけではなくて、教員目線で教員にも入っていただく、当然、働き方改革の目線もあり

ます。こういった部活動がこの海田町にとっては、1番実態として何が課題で、何を求めているのか、やはり実際に子どもたちの声も届いております。アンケート調査も含めて、モデル校でやっているものをそのまま持ってきたら、うまくいくこともなくて、実際、この海田町の子どもたちの数は減っている訳ではございませんから、合同でやる方がいいのか、1つのクラブで何十人というクラブもございますので、実態が違うということを理解した上で、今何が求められるのか、ということを見直そうという会を開こうと考えております。10月2日に第1回を予定して、実際にそのような動きを作って、言われたところを明確にしていくことが大きなところになります。令和8年度以降の方向性を示していくことに、繋がっていくと考えているので、地域移行はするにしても、どういう方向ですか、すべきなのか。実は、地域移行と地域連携という言葉もあるんですけども、学校に部活動の専門の指導者が入る方が、子どもたちにとって、求めているものなのか、そのことも含めて考えていきたいと思っております。

○委員（竹岡）ありがとうございます。今いる子どもだけでなく、5年先、10年先の子どもたちも部活でしっかり育てていけるような体制がとれたらいいと思います。よろしくお願いします。

○教育長（森山）それでは、次にまいります。報告協議第34号、海田町学校意識調査について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（小村）報告協議第34号、海田町学校意識調査について、

を教育委員会に報告するものでございます。別紙を御覧ください。資料2ページを御覧ください。実施要領と後半5ページからは調査内容になります。例年、この時期にさせていただいている調査で、大きく調査の目的、対象、時期等については、昨年同様とお考えいただけたらと思います。特に、変わるところと検討しないといけないところをお話しします。まず、たて7調査結果の取扱いについて、昨年度御意見をいただいております、公表を具体的にしたらどうか、ということも含めて、今ですね、こちらで考えてるのは、一部公表という形を取ろうかなと思っております。と言いますのも、4ページ以降見ていただいたら分かりますように、調査項目が選択式のものと、記述式のものがございまして、例えば、この記述式のものを全て公表するというのが、本当にプラスになるのかということもございまして、選択式でパーセンテージが出てくるものであるとか、そういったものについてはですね、皆さんに公表していくということで、今後、11月15日から21日にかけて、調査していきます。その結果を踏まえて、次回、この結果をお示しする時に公表させていただくことを、お示しさせていただきたいなと考えております。また、校長会でも少し意見交換をしたんですけれども、ここ数年少し変わってきていることとして、以前は、紙面で子どもに持って帰らせて、それを手書きで保護者が書いたものを、学級担任に子どもが提出をして、その結果を集約し

ていたという方法を取っていたんですけれども、今は、タブレットで
するようになって、数年になるんですけれども、今までは、保護者が担
任に渡すというところで、少しその自由記述のところに、書きぶりと言
ったらいいでしょうか、書き方に少しですね、遠慮ではないのです
が、配慮して、書かれていた文面もあったんですが、最近打ち込むだ
けなので、他者意識がなくなって、少しひどい表現があったり、ちょ
っと行き過ぎてるところもあるかなと。率直な意見を書いていただく
のは、当然狙っているところなんですけれども、学校もそれを見て、
直さないといけないことは直さないといないと思っているんですけ
ども、その辺りを気にされてるという意見もあって、記名式にしたらど
うかみたいな意見も出ています。ただし、今考えているのは、やはり
率直な意見をいただきたいので、記名式ではなく、無記名でやろうと
考えています。個人攻撃になるような文面がないように、保護者の鑑
文にもそういったところを注意書きとして、書かしてもらって御意見
をいただいたらどうかなというふうに、今考えているところです。そ
の辺りは、例年とは違うところになるかなと考えております。実際、
4 ページ以降の調査内容については、昨年度と変わっておりません。
内容は全て同じになっております。施策の内容についても、柱とする
ものは大きく変わっておりませんので、これで経年変化を取ってい
きたいと今回の提案となっております。以上でございます。

○教育長（森山）はい。以上の提案でございますが、先ほどの2点がで

すね、ちょっと変えていくところです。ホームページへの掲載公表を踏み切るといふところと、あと、やっぱりSNSとかもそうですけど、誹謗中傷といふところへ繋がって、今年でいうとオリンピック選手がいろいろ書かれていたり、ニュースの話題にもなりました。似たような状況が、人格否定のような、個人攻撃のようなものが出てきてるのが実際なんですね。だから、そこをお願いした上で、無記名でといふふうに検討しております。そこら辺の御意見がもしありましたら、いただけたらと思うんですけど。どうでしょうか。

○委員（竹岡） そういう方面に不勉強なところがあるんですが、ちょっと思ったままを言うんですけど、記名か無記名かというのは、無記名であれば他者視点がなくなって、書いてしまうといふことはあると思うんです。記名であれば、他者視点が入り過ぎて忤度してしまつて、書けないといふところがあるんですけど、このやり方がいいのか分かりませんが、記名も無記名も選べるようにするといふのは、選択肢としてどうなのかな。記名でおっしゃる場合には、何が問題なのかといふことを後でしっかり話すことができるし、無記名で書かれている分については、詳細は把握できないけれども、こういう件があるんだとか、こちらの方でその書かれていることの温度みたいなところをくみ取ることができるのではないか。記名をしてまで言いたいことであるのならば、しっかりそれが人格否定なのか、それとも本当に何かがあったのか、きっちり対話することもできるので、無記名しか選べない

というのも、もしかしたら選択肢の幅を狭めているかもしれません。

こういうアンケートの時に、そういう選択肢を取ることにメリットとデメリットがあると思うので、それを勉強してからじゃないと選べないと思うんですけど、そういうやり方もあるのかなと思いました。

○教育長（森山）責任を持った発言として、捉えるように記名するということですね。

○委員（竹岡）保護者の方も選ぶ、責任を持ってこれを発言したいんだ。それとも、無記名でこっそり発言したいんだ。こっそりという言い方は失礼かもしれないんですが。自分の正体は隠して、でもなんかちょっと小耳に挟んだし、こういう雰囲気があるから言っておきたい、みたいなことなのか、そこは保護者にも選んでもらってもいいのかもしれないなと思いました。

○教育長（森山）なるほどですね。

○委員（大野）同じようにいいと思います。無記名にあたり、何を書いてもいい状態だと、それこそ本当にいろんな情報が入ってくると思うんですが、無責任な情報と言ったら悪いかもしれませんが、そういう形で、どう対処しようかとなかなかできないと思うんですけど、やっぱり変わって欲しいとか、このアンケートを取る意味を大切にするんだったら、改善を求めているなら、改善をしていく方向を明確に、目的はこういう目的でやりますから、御意見のある方は記名を、記名はどうしてもといわれる方は無記名という選択の方がいいと思います。

意味を持たせるためには、大切ななと思います。

○委員（米丸）すごくいいことだと思います。もう個人攻撃になってくると、そのアンケートを教職員が見た時に、私のことってなると、そこでまた負担になってくるんで、やっぱり注意書きをして、個人攻撃やパワハラという一文も入れておかないといけないのかなと思います。言いたいことを言い出したら、うわさ話をそのまま書く人が多いので、やっぱり、事実と事実じゃないことの差。やっぱり、記名した人は、私が言ったということを、明かしてもいいということだと思うので。逆にそれだと、話をして行き違いだったとなることもあるのかなと思います。

○委員（林）いじめの調査の中で、学校がやらなきゃいけないもので。記名にしてもらわないと、対処の仕様がなくなるといような、職員からそういう意見が出てたんですよ。うわさとかではなくて、本当に対応しなきゃいけないという、知っていれば。直接言ってくればいいけども、その余裕はないから、出てきた時に無記名でやりますよね。これが誰なのか、どうなのか、学校が対応できなくて、困ったことがありました。今言われたように、選択制にしてもいいのかもしれないなと思いました。鑑文は丁寧にしておかないといけないのかなと。昔はそんなことなかったのにね、ということが出てきますから。

○教育長（森山）誹謗中傷への注意喚起という意味での鑑文への一文を入れることと、記名か無記名かの選択というところを検討させていた

だいて、考えたいと思います。似たような部分でいくと、町への提言みたいなのはメールで受けるようになっていきますかね。あれが、名前、住所、電話番号ぐらいただったかな、書くようになっていきます。名前と電話番号が書いてあるものについては、本当に個別でも切実で、直接電話をして子どもの状況を学校教育課であれば聞いて、学校に伝えて改善していくということも当然あるし、面白いのは、名前はないんだけど、電話番号だけ書いてある。名前は言わないんですけど、携帯電話に掛けたら、その方と繋がって、個人の特定はできないけど、どこまで言えますかと折衝しながら、学校名とだいたいどの学年と一定程度のこちらからの学校への働きかけを持って、効力を発するような範囲で教えてくださるとかですね。いろいろ確かに、あるのはあるんですよね。

○委員（大野）いいでしょうか。感想です。名前を書くことの意味というものを前書きに書いていただけたらいいなと思います。子どもの命を大切にしたいじゃないけれども、意味合いが違うんですけれども、目的を書いて伝えることは、大切なんじゃないかと思います。

○教育長（森山）分かりました。先ほどの御意見を踏まえてですね、ちょっと選択肢の方向も踏まえて、検討させていただいて、責任ある発言というところで捉えられるようにですね、させていただけたらと思いますので、そういう方向で、ちょっと検討をしていきますかね。ということで、内容については、またこの場で全部というわけにはいかな

いんですけど、去年とほぼほぼ一緒なので、また御意見いただけたらと思うんですが、一応この形で、先ほどの記名、無記名の選択の検討と、あと一文の導入というところで、検討していきたいというふうに思っております。それでは、よろしいでしょうか。

(全委員からよしとの声あり)

○教育長（森山）では、次にまいります。報告協議第35号、生徒指導上の諸課題について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長（小村）資料12ページを御覧ください。報告協議第35号、生徒指導上の諸課題について、を教育委員会に報告するものでございます。資料13ページを御覧ください。8月末についてでございますが、不登校生徒1名が上がっております。8月21日から学校が始まったことに伴って、不登校として計上されております。学校としては、この生徒が短時間ずつでも、登校が続けられるように、生徒の話を聞き取りしながら、支援を続けていくところでございます。その他につきましては、夏休み中ということもありますので、プラスマイナスゼロという結果になっております。この夏休み中のことでございますが、学校教育課では、8月26日に各校の生徒指導主任とSSRの担当者を対象にいたしまして、自殺予防をテーマとした研修を行っております。この研修会につきましては、独立行政法人教職員支援機構の研修動画を視聴し、その後参加者全員で、自殺予防について考えたり、社会福

社課の職員から、海田町における自殺の状況や相談窓口等について、説明をしていただいたり、教員がゲートキーパーであることや、しかし、担任だけ学校だけでは抱え込まずに、教育委員会や福祉の部署にも必ず報告をする。このような共有することの大切さについて、研修を進めておるところでございます。参加者からは、児童生徒の命を守っていくために、必要なことやその責任の重さを改めて認識できたとの感想が聞かれております。引き続き、協力して取組を進めてまいりたいと思います。以上でございます。

○教育長（森山）はい。夏休み中なんで、あんまり数字の動向としては動きがないんですけど、何か御意見がございますでしょうか。9月1日という、どうしても始業ですかね、自殺という状況が全国的にも数字が跳ね上がる状況なので、町としては、取組として行ったというところと、変な話ですけど、始業式での所在確認という2つで、子どもたちのまずは、命の確保、安全確保というところを、夏休み明けにお願いをして学校が対応していただいている状況でございます。よろしいでしょうか。

（全委員からよしとの声あり）

○教育長（森山）では、次にまいります。報告協議第36号、各行事の開催及び結果等について、を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○教育次長（新藤）資料15ページをお願いいたします。報告協議第36

号、各行事の開催及び結果等について、教育委員会に報告するものでございます。それでは、各課からそれぞれ説明いたします。

○学校教育課長（小村） 学校教育課でございます。資料 16 ページを御覧ください。9 月の行事でございますが、13 日金曜日、令和 6 年度市町村教育委員会研究協議会、大阪府、大野委員に御参加いただいております。26 日木曜日、海田東小学校校舎建替に関する第 3 回保護者説明を町民センターで 15 時から予定しております。10 月の行事でございますが、定例会につきましては、10 日木曜日、海田西小学校で 9 時半から予定しております。10 月は公開研究会がそれぞれの校区でございます。海田中学校区が 11 日金曜日、海田南小学校です。海田西中学校区が 18 日金曜日、海田西中学校です。こちらについては、別紙で案内をつけさせていただいております。海田中学校区は今二次案内が出ております。海田西中学校区は一次案内をつけさせていただいており、そろそろ二次案内ができると思います。時間、日程の方はそのような予定で計画をしております。行事に戻りますが、30 日水曜日、令和 6 年度広島県市町教育委員会教育委員研修会に委員の皆様にご参加いただきます。10 時半から広島ガーデンパレスで予定しております。こちらの送迎については、また御連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。ここに記載はありませんが、10 月 26 日中学校文化祭が予定されております。こちらの御案内は次回させていただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

- 生涯学習課長（森原）生涯学習課から御報告させていただきます。資料 17 ページを御覧ください。9月の行事予定ですが、22 日けんみん文化祭、「‘24 民謡民舞の祭典」が織田幹雄スクエアで開催されます。皆様にもチラシを配布させていただいているかと思いますが、県内から 19 団体が出場予定で、最優秀 1 団体、優秀 3 団体が審査後、選出されることとなっております。森山教育長が審査委員長をされます。10月の行事予定ですが、27 日子供スポーツ交流会が海田小学校で開催され、グランドゴルフを実施する予定です。生涯学習課からは以上です。
- 教育長（森山）はい、行事等で御質問はありますでしょうか。先ほど小村から紹介があった 10 月 30 日の研修会に河北校長先生が実践報告ということで、来ていただきます。それでは、よろしいでしょうか。
- （全委員からよしとの声あり）
- 教育長（森山）それでは、以上で本日の議題はすべて終了いたしましたので、教育委員会会議を終了します。

10：25 終了